

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 4月号 (NO36)

2013年4月10日 (水) 発行 (毎月10日)

【農暦】“土が楽しむ”を忘れず、“清明”のよき季節を楽しみたい!

○ “日本列島を6日から7日にかけて縦断した「猛烈低気圧」による暴風雨で、4人が死亡したほか、強風にあおられた看板が当たったり、転倒したりして、30人を超えるけが人がでた。“とニュースで伝えていた。5日は旧暦の清明である。“すべてのものが清らかで生き生きとするころのこと。若葉が萌え、花が咲き、鳥が歌い舞う、生命が輝く季節の到来です。”と二十四の節気の清明について述べている。こんな良い季節を嫉妬するかのよう暴風雨が襲う。桜の時期は花冷えとか春の嵐とか悪天になることが多い。

○最近では爆弾とか猛烈とか云う低気圧が定期便の様に来る。異常気象が常態化した感がある。異常気象は気団や気流の変化が関係している。北極圏の氷解は温暖化の影響によるものだとすれば、北極圏の氷解が気団や気流の変化に影響していると云う。異常気象は温暖化による人災になる。世上にもほとんど上らず忘れてしまった感のある温暖化対策は改めて地道に進めなくてはならない。

○他人事のように言える立場ではないが、騒ぎ立てるだけの風潮の世論では危なげでならない。エネルギー政策も、アベノミックスにも安易には乗れない。“^に俄か世論”は罪深いものがある。先人に学び、足元を見つめ直して糺さなければならない。

○次元の違う事だが、私のダラシナイ資質と体力の事もあるが、農的生活も残念ながら危ういものがある。足元を見つめ直す意味合いを込め、荒れ始めて周辺の整備を注力している。篠だけ伐採など繰り返し行っている。

○6-7日の強風でハウスの留め紐が外れたが、ハウスは凄い様相になりながらも持ちこたえてくれた。前の強風では鉄製のテーブルと椅子が吹き飛んでいた。夏と冬が一日置きに来るような温度差10度もあると身体が順応して行けない。野菜も冬眠のカエルも戸惑う事



＜利休梅＞強風に耐えながらも清楚な純白な花を開く。Kogure 農場で8日撮影



＜磯部桜川公園の桜＞国指定の名勝「桜川」とか。柏への帰りに岩瀬で8日撮影

だろうと思う。異常気象の雷、豪雨、風も怖い。タイミングが悪いリズムになると好天に遊び悪天で農作業になりかねない。今年は幸いにも春先の作業を順調に進められている。

○播種や苗作りをしていると、欲張りの衝動にかられ、多くの作付けをしたくなる。草の繁茂期を想起し気持ちを抑えている。“土を楽しむ”を忘れず、“清明”のよき季節を楽しみたいと思う。

【楽農】播種や育苗など

<ハウス> ; ヤーコン苗作り、

ピッコロファームの苗作り、

<畑 A> ; サヤエンドウの移植、ジャガイモ種植え、
二十日大根とエンドウ豆の播種、食用菊の植替え
*タラの芽と畑のワサビを植える(ご近所さんから)
椎茸が収穫、コゴミが芽を出す。

*篠竹刈りと整理、野焼き、

<畑 B> ; トラクターで 春耕

*トラクターのシャフトが外れ修理(10日)

*柏のトマトの苗は順調に発育中、



<トマトの苗>18日に播種。
極甘ミニ(右)とマイクロ(左)、柏の出窓で育苗中、10日撮影



<二十日大根が発芽>25日に播種したもの。畑 A で。8日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○グリーンジム本戸倶楽部 (21-22日)

① ハウスの中に温床のトマト、シシトウなど苗の鉢上げ、白茄子など追加播種

② 白茄子など鉢上げ(臨時のGジム、5日)

*ブログの“ピッコロファーム楽農・楽市”に掲載。

○その他 ;

男の料理教室(22日)、詩吟の会のお花見会(4日)、地元自治会の総会とお花見会(7日)、などに参加した。宝篋山のウォーキング(24日)を計画したが都合の悪い人が多く地元自治会の役員会と重なり中止した。

【つぶやき=Tweet】カワセミが戻ったが、雀の姿が

○最近、雀の姿を笠間でも柏でも見ない。自然が少なくなった柏で鶯の鳴き声を聞き目覚めた。10日位前のことである。笠間ではまだ聞いていない。柏の大堀川でカワセミを見た。東京の川にもカワセミが戻ったとニュースで聞いた。環境浄化活動の成果と思うと嬉しい。雀の姿を消した原因がどこにあるか分からないが、仮に、稲作の農薬が原因であるとしたら怖いものがある。カワセミのうれしい話も寂しくなる。道端の雑草も私の子どもの頃の

ものとは大分違って来ているように思える。農薬への耐性など環境条件に対応出来たものが優位を占めているように思えてならない。私の畑の周辺の事で短期的な観察で言えば、除草を良く出来た所と出来なかった所で雑草の種が違ってくる。耕作放棄地の年数で植生が明らかに違ってくる。考えてみれば人類は自分達に都合よく自然を部分的にせよ作り変えてきたのである。自然保護などと簡単に云えるものではないし、自然の生態系にはデリケートなものがある。五穀豊穡は自然へ謝意の祭りである。農産物は良く出来た事を自慢する事より自然に感謝する事を忘れてはならないのだと思う。

○話は変わるが、若いころからブラックホールには関心があり「ホーキング宇宙を語る」を読んでいると話をしたら、今はホーキングを超えた物理学の優れた学者がいると「宇宙は本当にひとつなのか」著者村山斉をピッコロファームの仲間から紹介された。つい先日のラジオのトーク番組で「暗黒物質」の言葉が出てきて驚いた。この本で知った、“宇宙を構成するものの内訳は、原子(我々を含め万物を作る)4.4%であり、暗黒物質約 23%、暗黒エネルギー約 73%である。”この事を話していたのである。宇宙(論)に関心を持つ人は意外に多い様だ。本のカバーには 10 万部突破とあった。本には思考感覚を超えた極大・小の数字が使われている。仏教典の桁外れの数表現を連想したら、「般若心経」の「色即是空、空即是色」は真空エネルギー(粒子、反粒子)の状態の描写と同じだと書かれていた。これにも驚いた。この本の中にあつた LHC(粒子加速器のこと)と云うスイスのジュネーブ郊外にある一周 27 km ある巨大な実験装置のことも、ラジオで聞いた。日本の科学者が実験に参加していると云う。かつて加速器の実験装置の仕事に関わつた事があつたので興味深いものがあつた。終わりの章に“ごく稀に条件がそろつた宇宙に人間が生まれた”との文言があつた。人間存在の条件こそが宇宙研究の基本になるようだ。途轍もない壮大なものが期待される。楽しく読み終えた。お薦めしたい本である。

【後記】薄い緑に山桜の薄いピンクの色彩りの芽ぶきの山々が素敵です。笠間に、k o g u r e 農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



<チューリップが満開> 柏の農業公園にて。左奥に市民農園がある。9日撮影



<市民農園> 一区画(25m²)が 9000 円とか、農機具、シャワーなど施設あり、元気な玉葱や苺が。柏農業公園内で。9日撮影

発行者 ; K o g u r e 農場・小暮虎雄

住所 ; 笠間市本戸 4 2 0 1 - 1 0

携帯電話 ; 0 9 0 - 9 3 3 3 - 4 1 3 5

メール ; torao-k@nifty.ne.jp

HP ; <http://homepage3.nifty.com/toragigi/>